

ノリ情報(2号)

山口県水産研究センター 内海研究部

平成17年10月21日

1 気象・海況

(1) 水温と降水量(秋穂湾)

水温は10月上～中旬とも平年に比べ1℃以上高めに推移しています。10月18日の下関地区が21℃、10月19日の宇部地区で22～23.2℃となっています。降水量は10月に入ってまとまった降雨がなく10月上旬が平年の30%と、非常に少ない状況となっています。

(2) 栄養塩

DINが下関地区115～127ガンマ、宇部地区4～150ガンマ、防府地区22～32ガンマと宇部地区(河口漁場除く)、防府地区で非常に低い値となっています。PO₄-Pは下関地区19～21ガンマ、宇部地区8～15ガンマ、防府地区12～21ガンマと平年よりやや高い値となっています。

2 採苗・育苗

野外採苗は王喜漁場で10月5日までに終了。芽付きは一部の網を除き、やや薄めの芽付きでした。小潮時に付着物(ハリヤマ)が多かったが、中旬以降は減少。小野田地区も陸上採苗網の育苗は順調に推移している。高泊地区のタンチサイは10月9日以降に単張り移行され、10月18日から摘採が開始されました。当初は低栄養塩の海況から色調が浅くなることが懸念されましたが、実際には色調、葉体のヒキ、艶も良く、良質な製品が生産されています。宇部地区の育苗開始は10月25日0:00に決定されました。

3 注意事項

降水量が非常に少なく、特に宇部地区では河口漁場を除き、栄養塩が非常に少ない状況となっています。今後の海況・潮回りを勘案しながら育苗を行って下さい。

4 他県の状況

- (福岡)野外採苗ほぼ終了。芽付きは適正～やや薄。水温は平年より高め推移。
- (佐賀)野外採苗終了。一部地区で栄養塩低下傾向。水温は高めで推移。
- (熊本)先行した北部は採苗終了。その他は15日から採苗開始。